

高校における県外生徒の受け入れについて

<県立高等学校>

学校の活性化を一層進め、ひいては地域の活性化にもつながることを目的に実施している県立高校の推薦入試における県外募集の受入人数について、スポーツなどでの学校の一層の魅力化を期待して、平成30年度から拡大することを検討したい。

現行：募集生徒数の5%以内 → 拡大後：募集生徒数の10%以内
(県教委と協議の上5%超も可) (県教委と協議の上10%超も可)

なお、実施に当たっては、県内から受験する中学生への影響に十分配慮するとともに、寮の整備や生活面を指導する者の配置など、生徒の受け入れ環境についても併せて配慮する必要がある。

【学校現場の主な意見】

(高校側)

- ・住居の世話が大変。寮を整備してもらえらなら10%にしてもよい。
- ・寮の整備については、県、市町村の協力が必要
- ・現状のままで枠を拡大しても志願者は増えない。広報を十分行った上で拡大すべき。
- ・住居環境と生徒指導環境が整うことが大切。
- ・指導力(部活動)のある教員の配置が課題。

(中学側)

- ・定員を満たしていない学校については、県内中学生に影響はないので拡大してもよい。
- ・県内の中学生が入学できない状況が生じてくるようになったら問題。

【課題】

- ・新たな寮を建設・運営するとなった場合、多額の経費が必要となるが、地域活性化の観点から地元自治体等からの支援協力も得る必要がある。
 (例) 15人程度の寮を新築する場合、約3.5億円/棟の建設費と1~2千万円程度/年の人件費と運営費が必要
 ※他県では、建設費、管理人・調理師とも町が負担している例も有り
- ・スポーツで魅力化を図る場合、優秀な指導教員を常に確保し続ける必要がある。

【現実的な対応案】

- ・寮については、当面、民泊又は民間施設の借上げ、既存施設の改修などで対応し、応募状況を見ながら対応を検討。
 →将来的には、遠距離通学者を含む複数校の生徒が利用可能な総合寄宿舍などの建設を検討。

(参考)

- ・寮生がいる県立高等学校→倉吉農業(祥雲寮)、鳥取中央育英(緑風寮)
- ・寮生はいないが小修繕で使用可能な寮がある県立高等学校→日野(双葉寮)

【参考】

1 県外募集の主旨

県立高等学校では、各学校が特色ある教育活動を展開し、生徒の持てる能力や資質の伸長及び生きる力の育成を目指している。

このため、県教育委員会が指定する学校の小学科やコースにおいて、推薦入試での県外中学校（指定地域を除く）の生徒の出願を認め、県外からも目標を持った生徒が入学することで、学校の活性化を一層進め、ひいては地域の活性化にもつながることを期待するものとして、平成28年度入試から導入している。

2 県外募集の指定基準及び受入人数

(1) 指定の基準

体育コースを設置している学校や中山間地域の学校など、積極的に魅力化に取り組んでいる学校（小学科やコース）。

(2) 受入人数

学校の活性化を一層進めることと県内生徒の入学者数とを勘案して募集生徒数の5%以内としている。

(例) 八頭高校体育コース…(募集生徒数40人) × 5% = 2人

※学校長は教育上必要があると認めるときは、県教育委員会と協議の上、5%を超えて合格者を決定することができる。

平成28年度推薦入試における県外生徒入学実績

高校名	大学科名	小学科名	募集人員	入学実績	寮
八頭	普通	体育	2人	3人	×
智頭農林	農業	ふるさと創造	4人	1人	×
		森林科学			
		生活環境			
倉吉農業	農業	生物	1人	0人	○
鳥取中央育英	普通	体育	2人	0人	○
境	普通	普通	2人	0人	×

3 平成29年度推薦入試における県外募集の実施校

平成28年4月に受入人数（割合）の拡大希望も含めて各校に照会し、平成28年5月定例教育委員会にて実施校を決定（計7校：岩美（新規）、八頭、智頭農林、倉吉農業、鳥取中央育英、境、日野（新規））。

※平成29年度実施校において、受入人数拡大の希望はなし。

【これまでの経緯】

- ・中山間地域の県立高校の定員割れが続く中、高校の魅力化とあわせて生徒確保のための方策の一つとして、平成28年度から推薦入試における県外募集を導入。
- ・寮を有していない学校においては、アパートを借り上げて部活動顧問が面倒を見たり、地元の協力を得て下宿を行うなどの対応をしているが、受入人数に限界あり。
- ・学校としては、アパートや下宿では生徒指導面において不安な面があり、これ以上推薦枠を拡大する場合は、専任舎監等を配置した「寮」の整備が必要と感じている。

募集生徒数、推薦入学者選抜募集人員、県外生徒受入数、学科等の特色、推薦要件及び検査内容一覧表



課程	学校名	大学科名	小学科名 (コース)	募集 生徒数	推薦入学者 選抜募集人員 (人以内)	うち 県外生徒 (人程度)	学科(コース)の特色	推薦要件及び検査内容	寮
全日制	岩美	普通	普通	114人	22人	3人	1年次に将来の進路についての学習を深め、2年次から進路希望に 応じた3つの類型に分かれます。 大学等の上級学校への進学を目指す進学類型、就職及び専門学校等 への進学に對する関心・スポーツ類型、福祉系への進学や就職に對 する福祉類型に分かれます。 規範意識があり、夢に向かって頑張りたい人を求めます。	【推薦要件】 ①本校の教育活動を理解し、学習とともに制活動にも積極的に取り組む意欲がある 生徒。 ②規範意識があり、夢に向かって頑張ることのできる強い意欲を持った生徒。 ③県外からの志願者については、ハレ・ボール(女子)種目において優れた技術と運 動能力をもち、3年間継続して活動する強い意欲を持った生徒。 【検査内容】 ・面接・作文	無
							体育、スポーツに関する基礎的な知識を理解し、実技や実習を通じ て、より高度な運動技能の習得を目指すとともに、多様な進路に對心 でいる字力を養います。	【検査内容】 【推薦要件】 ①優れた能力と資質を持ち、将来、スポーツまたは健康に関する分野で活躍するた めに、学習と制活動の両方に意欲的に努めることのできる人物であること。 なお、部活動については、各校の実技検査科目を3年間継続して活動する意欲 が強いこと。 【検査内容】 ・面接・作文 ・実技検査 ・県外生徒は、兼道(男子)、剣道(男子)の中から一つ選択する。	無
全日制	八頭	普通	普通 (体育)	40人	20人	2人	農業を基盤とした学習を通して、ふるさとを愛し、傳承の知識を 支え、新たな価値を創造する人を育成します。 森林と木材の有効利用に関する知識と技術を習得し、林業及び地域 産業の発展に貢献できる能力と態度を備えた人を育成します。 生活と自然環境に関する知識と技術を習得し、心豊かな生活が創造で きる能力と態度を備えた人を育成します。	【推薦要件】 ①目的意識が明確で、学科を希望する者。 ②意欲が強く、学科に對する適性及び興味・関心を有する者。 ③学科に對して十分に就業の見込みがある者。 【検査内容】 ・面接・作文	無
							農業の基盤である動物の飼育、植物の栽培を中心に加え、幅広い農 業知識及び技術を学習します。 農業の多面的知識を習得するとともに、就業経営者をはじめとして 地域社会で活躍できる人材を育成します。	【検査内容】 【推薦要件】 ①将来、動物の飼育や植物の栽培で就業自営を目指すしている、また、地域農業を支 える意欲や関心を有している者。 ②学科の特色を理解し、適性があり、実習に意欲的に取り組む、十分に就業の見込 みがある者。 ③学校生活、家庭生活ともに規律ある生活ができ、進んで仲間づくりができる者。 【検査内容】 ・面接・作文	無
全日制	倉吉農業	農業	生物	38人	12人	1人	体育コースは、生涯の運動希望や興味・関心に合わせ科目選択が できる単位制のコースであり、競技力の向上及び体育・スポーツの指 導者育成をめざしています。	【推薦要件】 ①将来、農業や制活動、生徒会活動等への意欲があり、目標 に向かって積極的に取り組めること。 ②コースの特色を理解し、競技力において優れた能力を有していること。また、3 年間制活動に取り組む、目標に向かって積極的に訓練できること。 【検査内容】 ・面接・作文 ・実技検査 ・体力診断(反復横跳び、立ち幅跳び、握力、上体起こし、長座体前屈)	寮 無
							「文武両道」「農業動機」の校訓のもと、目的別クラス編成及び多 様な選択科目の設置により、生徒一人一人の能力・適性を伸ばし、学 力の向上と希望する進路実現をめざしています。	【検査内容】 【推薦要件】 ①農業に優れた能力を有し、入学後は学力の向上を目指して切磋琢磨し、努力を惜 しまない者(県内) ②スポーツに優れた能力を有し、入学後は専断的に運動部活動に取り組む、競技力 の向上を目指して切磋琢磨し、努力を惜しまない者(県内・県外) ただし、県外出身受検者は、陸上・ソフト・ハンドボール及びサッカーのいず れかとする。)	無
全日制	鳥取中央青英	普通	普通 (体育)	40人	20人	2人	自分の興味・関心や進路希望に基づいて、幅広い選択科目の中から 科目を選択して学べる総合学科の高校です。上級学校への進学、農主 たる農家としての農業実習、商業検定への挑戦、介護資格の取得が可能 です。 自己表現に向けて、向上心を持って勉強に部活動に努力する人を求 めます。	【検査内容】 【推薦要件】 ①本校及び総合学科の推薦を得た者とする。 ②本校長の推薦を得た者とする。 ③県外出身者は以下の通りの要件を満たす者とする。 ・ソフト・テニスに優れた能力を有し、入学後は3年間継続してソフト・テニス部に所 属し、部活動に取り組む意欲が強いこと。 ・総合進学系列に進み、将来、大学等の上級学校への進学を目指す者。 【検査内容】 ・面接・作文	寮 無
							【検査内容】 【推薦要件】 ①本校及び総合学科の推薦を得た者とする。 ②本校長の推薦を得た者とする。 ③県外出身者は以下の通りの要件を満たす者とする。 ・ソフト・テニスに優れた能力を有し、入学後は3年間継続してソフト・テニス部に所 属し、部活動に取り組む意欲が強いこと。 ・総合進学系列に進み、将来、大学等の上級学校への進学を目指す者。 【検査内容】 ・面接・作文	無	

私立高等学校に係る学則（収容定員）変更認可について

平成28年11月4日
教育・学術振興課

平成28年度第2回鳥取県私立学校審議会が開催され、下記のとおり私立高等学校に係る学則（収容定員）変更認可に関する県の諮問について審議されました。同日、答申を受け、平成28年9月1日付けで認可しました。

記

1 平成28年度第2回鳥取県私立学校審議会

- (1) 日 時 8月22日（月）午後2時から3時まで
- (2) 場 所 鳥取県庁 特別会議室
- (3) 出席委員 委員12名中12名（うち意見書の提出3名）
- (4) 審議事項 諮問第1号 私立高等学校に係る学則（収容定員）変更認可について
- (5) 学則（収容定員）変更内容

申請学校法人名	高等学校名	学科	科	収容定員(1学年)				増減
				変更前		変更後		
鳥取家政学園	鳥取敬愛高等学校	普通	普通	200	240	160	200	△40
		家庭	生活教養	40		40		
矢谷学園	鳥取城北高等学校	普通	普通	278	278	360	360	82
松柏学院	倉吉北高等学校	普通	普通	250	280	170	200	△80
		家庭	調理	30		30		
翔英学園	米子北高等学校	普通	普通	340	380	290	330	△50
		看護	看護	40		40		
合計	東部+42、中部△80、西部△50							△88

(6) 審議の結果

「承認する」ことと決し、その旨平成28年8月22日付けで知事に答申。

2 認可について

平成28年9月1日付け認可。